

名誉教授大平善梧先生略年譜

明治三八年(一九〇五年)

九月一九日 大平善蔵・同雪子の三男として、会津若松市大町一の町二四に生まる

大正一二年(一九二三年)

三月 会津中学校卒業

大正一五年(一九二六年)

三月 小樽高等商業学校卒業

四月 東京商科大学本科入学 岩田新教授のゼミナールに就く

昭和四年(一九二九年)

三月 東京商科大学学士試験合格

七月二日 東京商科大学補手

昭和五年(一九三〇年)

十一月二日 高等試験司法科試験合格

昭和六年(一九三一年)

(127) 名譽教授大平善梧先生略年譜

一〇月二七日 東京商科大学助手

昭和七年（一九三二年）

四月 拓殖大学講師嘱託（以後昭和一六年三月まで）

昭和一〇年（一九三五年）

四月二五日 宮城県県会議長南篠秀夫長女芳子と結婚 恩師岩田新博士媒妁

七月一〇日 東京商科大学予科教授

昭和一一年（一九三六年）

一二月二日 東京商科大学助教授兼東京商科大学予科教授

昭和一四年（一九三九年）

四月 東亜研究所嘱託（以後昭和一八年二月まで）

五月 外務省條約局嘱託

七月 満州国及び中華民国へ出張（以後終戦時まで七回）

昭和一六年（一九四一年）

九月 上海にて租界対策に従事し、後に南華及び仏印視察

昭和一五年（一九四〇年）

四月 明治学院高等商業部講師嘱託（以後昭和一八年二月まで）

昭和一七年（一九四二年）

二月 東亜経済研究所所員(以後昭和二年六月まで)
四月 無線電信講習所嘱託(以後昭和一九年三月まで)
八月一〇日 東京商科大学教授兼東京商科大学予科教授

昭和一八年(一九四三年)
二月二日 高等試験臨時委員(以後昭和一九年まで)

昭和一九年(一九四四年)
七月六日 長女麻佐子誕生 上海滞在中

昭和二〇年(一九四五年)
七月 上海より朝鮮海峡を渡り辛じて帰日

昭和二一年(一九四六年)
三月 電気通信大学講師嘱託(以後昭和二六年三月まで)
五月 中央大学講師嘱託(以後昭和四四年三月まで)

昭和二二年(一九四七年)
三月 日本大学講師嘱託(以後現在に至る)
四月 国際法学会理事(以後常務理事として現在に至る)

昭和二五年(一九五〇年)
五月八日 長男春見誕生

昭和二十六年（一九五一年）

- 二月 學術奨励審議会科学研究費等分科審議会委員
- 四月一日 一橋大学法学部教授
- 四月 小樽商科大学講師囑託（以後昭和二十八年三月まで）

昭和二十八年（一九五三年）

- 四月一日 一橋大学評議員（以後昭和三十一年九月まで）
- 四月 明治大学大学院講師囑託（以後昭和三十一年三月まで）

昭和三十一年（一九五五年）

- 二月 ビルマ・香港へ出張（同年三月帰国）
- 四月 国際法研究のため米国へ出張
- 六月 三ヵ月欧州一巡（昭和三十一年七月帰国）

昭和三十一年（一九五六年）

- 二月 アジア政経学会常務理事（以後現在に至る）
- 三月 日本国際連合協合理事（以後現在に至る）
- 一〇月 国際法協会日本支部理事（以後現在に至る）

昭和三十三年（一九五七年）

- 四月一日 一橋大学評議員（以後昭和三十八年三月まで）

昭和三十三年（一九五八年）

- 六月 アジア・アフリカ法律諮問委員会カイロ会議出席のためエジプトに出張（同年一月帰国）

昭和三四年(一九五九年)

- 四月一日 一橋大学法学部長(以後昭和三十六年三月まで)
- 五月 日本国際政治学会常務理事(以後現在に至る)

昭和三五年(一九六〇年)

- 一月 国際法研究のためセイロンへ出張(同年二月帰国)
- 三月 慶応義塾大学より法学博士の学位を受く
- 四月 日本国際問題研究所常務理事(以後現在に至る)

昭和三七年(一九六二年)

- 七月 対外投資法調査のため、カナダ、アメリカ、キューバ、ブラジル、フランス、オランダ等一四カ国へ出張
- ローチウス協会ボルドー大会に出席(同年一月帰国)
- 十一月 日本学術会議会員当選(任期三年)

昭和三九年(一九六四年)

- 四月 会津短期大学講師嘱託(以後現在に至る)

昭和四〇年(一九六五年)

- 一月 韓国へ出張(前後二回)
- 四月 一橋大学評議員(以後昭和四二年三月まで)
- 八月 国際会議出席のため、フランス、イタリア等へ出張 モンペルラン協会ストレザ大会に参加(同年九月帰国)
- 十一月 日本学術会議会員当選(任期三年)

(131) 名譽教授大平善梧先生略年譜

昭和四一年（一九六六年）

八月 対外投資法調査のため、東南アジア各国へ大学院学生と出張

昭和四二年（一九六七年）

七月 沖繩へ出張

昭和四三年（一九六八年）

四月 青山学院大学法学部講師

四月 ヨーロッパ各国へ長女麻佐子と出張 ジュネーブの国際連合協会世界大会に出席（同年六月帰国）

十一月 日本学術会議会員当選（任期三年）

昭和四四年（一九六九年）

三月 一橋大学を定年退官

三月 一橋大学名誉教授

四月 青山学院大学法学部教授

七月二二日 青山学院大学長